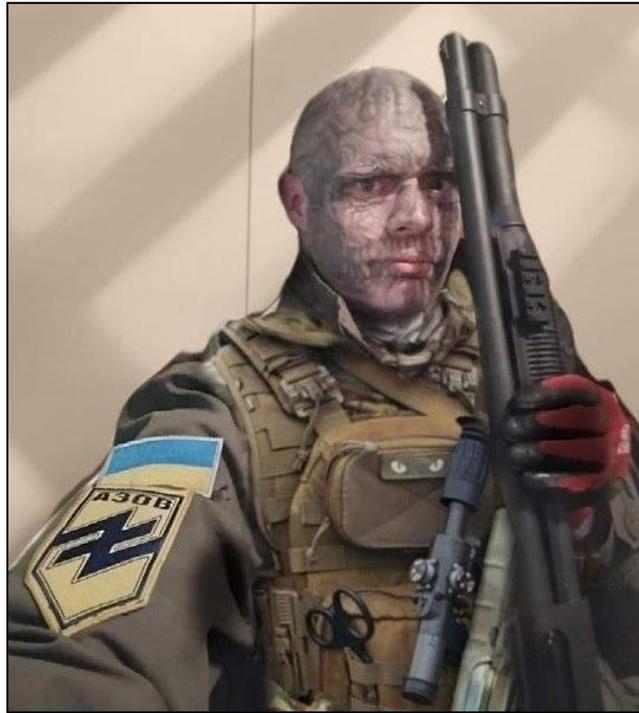




## ●ボーンフェイスへのインタビュー-米国のネオナチ、アゾフ大隊の元メンバー(2022年11月)

※安齋注:何やら不気味な記事ですが、機械翻訳が奇妙なこともあって、良く分かりません。アメリカのネオナチ、元アゾフ大隊のメンバーのケント・ライアン・マクレラン=“ボーンフェイス”へのインタビュー記事です。ボーンフェイス=boneface(骸骨顔)には「得体のしれない人」といった意味があります。



<https://telegra.ph/INTERVIEW-WITH-BONEFACE---US-NEO-NAZI-EX-MEMBER-OF-AZOV-BATTALION-11-12?s=09>

ケント・マクレランの「ボーンフェイス」について初めて知ったのは、ウクライナ保安庁の元従業員であるヴァシリー・プロゾロフの調査を通じて、現在彼のチャンネル UKRLEAKS でウクライナの隠された真実を明らかにしています。

その後、ボーンフェイス自身が私の同僚の Truthseeker77 に連絡し、私が自分のチャンネルで彼について行ったレポートのいくつかに異議を唱えたいと思っていました。私たちはボーンフェイスにインタビューを依頼することに決め、質問をまとめ、Truthseeker77 が米国のネオナチに対するすべての「尋問」を行います。

この作品の結果は、ウクライナでの彼の時間についてのマクレランとの書面によるインタビューだけでなく、アメリカ当局との彼の過去のトラブルについてのビデオと情報、そして私の同僚の素晴らしい仕事のおかげでアメリカの白人至上主義者の考え方への洞察を生み出しました。

ケント・ライアン・マクレランは 1990 年 4 月 22 日、セントクラウド(フロリダ州)生まれ。ネオナチのロックバンド、ブルータルアタックのフロントマンの息子で、高校時代、彼はすでに人種差別主義組織「アメリカンフロント」のメンバーになりました。彼は 2008 年 9 月に人種差別的な落書きで 18 歳で最初に逮捕されました。2010 年に、彼は破壊行為と移民の殴打のために時間を務めました。2012 年 5 月、FBI は、フロリダの少数民族に対するテロ行為を準備したとして、マクレランと彼の共犯者を「アメリカ戦線」から拘留しました。

彼は 2014 年に「右派セクターのウクライナ義勇軍団」(DUK RS)に仲間入りし、数か月間米国に戻り、人間不信師団とそのウクライナへの採用キャンペーンを続けました。

2022 年 1 月、ウクライナに戻り、アゾフ大隊に加わりました。

### ウクライナについて最初に聞いたのはいつですか？

政治情勢としてのウクライナ。私はいつもそれが国家として存在していたことを知っていました。それは明らかです。

### どの組織にどのように連絡しましたか？

私が最初に接触した組織は、私がコンバット 18 だったときのように、C14(注:ウクライナのネオナチ組織)でした。これは西洋の同等物です。

私は主に Vk.com と連絡を取り合っていました。ほとんどのソーシャルメディアでページを維持することは困難です。私の元の vk.com アカウントは VK.com/Kenthate でした。

私は、誰かが本質的に ISIS(注:イスラム国)運動と国家社会主義者は同じであると言った情報を公開していました。そこで私は、イスラム国と彼らのナショナリズムに対する憎しみについての論文を、彼らのプロパガンダビデオの 1 つを使用して発表しました。

C14 がそれを共有した後、フランシスコは私と連絡を取りました。彼はミスタントロピック部門でした。

そこから私は参加しませんでした。私は彼らの出版の多くを尊重しました。2012 年、FBI がここフロリダでのトレーニングキャンプの運営を手伝ったとして私を逮捕した後、私たちは短いフォールアウトを経験しました。

キエフの抗議行動が始まったばかりだった(注:多分、2013年11月頃)のを覚えています。C14 の多くの人、そして当時ライトセクトール(注:極右組織)になったもの、(Svboda、Blue Boys、C-14、Blood and Honor、Slavic Union)、私たちはこれに参加しています。物事がそれに夢中になるのはそう長くはかからなかった。私たちが抗議サイトを離れて、単に消えている人々。ボードフォンが詰まり始めるのにそう長くはかからなかった。そこで、私は基本的に DNS を回避し、ネットワークにパッチを作成して、人々が互いに調整できるようにするためのチームを編成しました。

### どのように旅行しましたか？

攻撃的なセキュリティで OSCP(攻撃対象への侵入や特権昇格の技術力を証明する資格)認定を取得し、パスポートを取得しました。私は 2014 年にそこに着きました。私は 9 日間のビザ、チケットをあちこちで受け取りましたが、実際に戻る意味はありませんでした。それは初めてでした。

私が行ったとき、私はすでに米国でミスタンスロピック部門を運営していました。

### 一般大衆とウルTRASとの関係はどうでしたか、ファシストの支配は西側メディアの報道と比較してどれほどオープンでしたか、大まかにいくつのウルTRASがありましたか？

大衆はウルTRASであり、それが聞こえるのと同じくらいクレイジーでした。誰もが愛国心が強かった。当時、誰もが何が起きているのかを知っていました。BBC は報じた、アメリカ人はそれを報告した。

ウルトラグループに関する限り、実際の組織の数はそれほど多くありませんでした。誰もがほとんど C14 であり、「Pravy sektor」(極右セクター)というタイトルは他のすべてを吸収しました。

彼らは、戦争が見られなかったすべての州でほぼ毎日イベントを主催しました。

### 外国から来た人は何人いましたか？

外国人メンバーには、ジョージア、ラトビア、アメリカ、フィンランド、スキンヘッドがたくさん含まれていました。

世界がすべての本物のスキンヘッドに何が起こったのか疑問に思う場合に備えて。彼らは皆ウクライナに行きました。

### 米国のどのグループがそれらをサポートしていますか？

ウクライナはもはやアメリカ人とあまり緊密に協力していません。アメリカの DUK があり、ミスタンスロピックディビジョンでさえ、ここで独自の目標を持っていました。ウクライナは一緒にたわごとをしています。

フロリダを見てください、それはすべて文字通りのゴミです。運動としての明確な目的も目標もなく、2014 年以外では、真の過激派はホワイトパワーの世界に集団として存在できませんでした。

実際、今日米国に存在するほとんどの民兵は、アトム武装勢力とミサントロピック師団の結果です。

### ウクライナにいる間に何をしましたか、そこで出会った人や出身地は何ですか？

私はウクライナに行った最初の人ではありませんでした。私たちは他のいくつかを送りました、私たちはこれらすべてでしゃっくりを持ち続けました。ダルトン;レーンは、個人が注目されています。私たちはこれを完全に自分たちで、ポケットから出したりしました。

私はレーンの状況と彼が何から逃げているのかを知りませんでした。しかし、彼らがそこに着き、ウクライナに住むことを決定するまで、アメリカ人がウクライナに到着し、空港で立ち往生しないのに十分な安定した信頼できるルートがありました。

この時点で私は何を考えるべきか本当に知りませんでした、訓練連隊はあなたがアメリカ人で見るとようなものではありませんでした。

それは非人間的ではありませんでした。アゾフになるものの多くは英語を話し、ロシア語を勉強することは必須でした。

右翼セクターは、過激派ナショナリストが行く限り、ほとんどすべてを支配していました。

### 仲間のアゾフメンバーはどのようにあなたを受け入れましたか？

彼らはまだアゾフではありませんでしたが、はい、彼らは私を元気に連れて行ってくれました。ウクライナ人は、言語の壁のために、実際にはそうではありませんでした。彼らは私が遅れていると思ったに違いありません。

今回、私は最初に 227 回目の偵察に配置されましたが、これは私にとって平手打ちでした。それは戦後になって初めて、私は知人と一緒に第 2 大隊に正当に戻りました。

### アゾフ大隊とのマリウポリでの配備時間はどうでしたか？

マリウポリの最初の走行中、厄介なスタンドオフと恐怖の厚い雰囲気はようやく消えたとき、まったく何もなかったところで多くの射撃があり、多くの兵士が何をすべきかわからなかった。私自身もその中に含まれていました。

マリウポリ自体の市民は、親ウクライナと親ロシアの立場で大きく分かれていました。

時折、ロシア兵が混在していましたが、これは十数人の親ロシア分離主義者の囚人に証明できます。

米国政府はあなたを誘惑したり、何らかの形であなたを助けたりしましたか？

政府が行く限り、マイダンのクーデターの間、私は UKR の人たちに DNS ポイズニング(インターネット上の DNS リゾルバーキャッシュに虚偽の情報を置くこと)を教えて捕まりました。

彼らは座って助けたいと思っていました。彼らは名前も何も望んでいませんでしたが、状況を監視したかったのです。この裏付けがなければ、私はアメリカの中立法違反で起訴されていただろう。これは 1784 年に書かれた法律です。

ウクライナの大隊が犯した戦争犯罪を目撃したことがありますか？

私が配備される前に、オデッサで殺されたたくさんの赤いアナキストについて聞いたのを覚えています。

竜巻は、私が今まで見たり扱ったりした中で最も恐ろしいものでした。私はマスクさえ着用していないその失敗した十字架のビデオにいます。

キエフからマリウポリに配備されたことを覚えています。アゾフになったもののドレスユニフォームは、決して戦術的ではありませんでした。私たちは、ドンバスの左翼によって形成された民兵と同様に GRU(ロシア連邦軍参謀本部情報総局)の存在を期待するように言われました。

私はウクライナで最初に回っていくつかのたわごとを見ました。マリウポリを「戦争だ」と要約することしかできません。これは多くの凶悪なたわごとが始まったことです。

尋問が起こります。私はたくさん尋問する仕事をしていました。そのような人々の扱いは、私が推測するロシア人と同じです。

アイダーとトルネードのメンバーが、リンチされた妊婦と彼らが彼女の夫だと言った男性の死体でポーズをとっている写真を撮るように頼まれたことを覚えています。

ビデオのタイトルは「キセスがロープを手に入れる」ですが、文字通りユダヤ人とは何の関係もありません。とにかく私はそのような行動を支持しなかったらう。

トルネードは奇妙な男の集まりでした。それらのいくつかはまともなチェチェン人でした、そしてそれは私がダゲスタンの歴史とグロズヌイで起こった狂気を学んだことでした。

あなたが選んだ武器は何ですか？

私はほとんどの場合砲手でした。PKM、カラシニコフ。

なぜ-砲手になるには、あらゆる側面の知識が必要です。単に盲目的に発砲しているわけではありません。

あなたは歩兵を理解しなければなりません、あなたは鎧を理解しなければなりません。

あなたは他の砲手と協力し、文字通りすべての人の目になることができなければならず、フィールドで最も明白なターゲットである必要があります。

砲手がいなければ、装甲柱は役に立たない。

チェーンの外側の、見えない領域は、到達する必要があります。あなたは男性の列を畏にかけ、彼らの行動を操作してあなたが彼らにしたいことをすることができなければなりません。

これには歩兵戦術も付属しており、簡単な武器ではない PKM の仕組みを機能させることができます

す。

特に、何らかの理由でフェルトチップツールが武器から消え続ける場合。

あなたはこれをするために支払われましたか？そして誰によって？給料はもらえましたか？

私は決して支払われませんでした、私は実際にウクライナに行くことによって経済的に自分自身を台無しにしました。私はどんな価値のためにもそれをするを想像できませんでした。

私は支払われませんでした。いいえ。

その間、私たちは CIA と国防総省(マリウポリ)と話し合っていました。ペンタゴンがそこで戦争中に諜報活動を行ったのは事実です。

なぜアメリカに戻ったのですか？

私も意図していませんでした。何人かの SBU(ウクライナ保安庁)の男がロシア人と協力して捕まった後、私は注文で返送されました、彼らは明らかにキエフの SBU 病院で私を殺すことを計画しました。

ロシア軍と DNR 軍は価値のある敵ですか？

DPR は、ロシアの同盟国に関する限り、今回は最初はこの分野で最高の兵士です。彼らの迫撃砲チームは非常に正確で、しばしば歩兵と協力し、時計のように動きました。彼らは一般的に彼らが実行した行動を恐れていませんでした。

私がほとんど気分が悪くなったロシア兵の最初の波。空軍は、明らかにロシアのチームで非常に熟練した努力です。

マリウポリで使用した海軍歩兵チームは、適応能力に欠けています。これは海軍歩兵だけです。私はマリウポリで最初の数週間、囚人を尋問する仕事に就きました、私は私の YouTube チャンネルでこれらのビデオを持っていました。戦いたくない、そして彼らが戦うのではないと主張する彼らのかなり多くがいました。

それから 3 番目の警備員スペツナズが来ました。これはまったく別の話でした。

ロシアの進歩を弱体化させたすべてのものの中で最悪のことは、彼らがまた進歩を試みていた間、マリウポリの絶え間ない砲撃でした。これを理解するには、爆発物がどのように機能するかを理解する必要があります。

あなたを殺すのは爆風ではなく、これらのものから放出されるエネルギーです。それは完全に意識的な発作に入るようなもので、すべてがこのほこりで覆われ、すべてが色あせた黄色に変わります。あなたは文字通りそれを味わうことができます。それは性交のように化学的です。

一方、アゾフ連隊と DPR はどちらも理論的にはマリウポリとドンテスク州に自生していました。ロシアの歩兵はしばしば敵対的な土地で迷子になるでしょう。

DPR と DPR の人たちは、マリウポリをナビゲートする方法をはるかによく知っている人のようでした。彼らは恐ろしかった。ご存知のように、第 2 大隊(アゾフ)と彼ら(スパルタ)は歴史的な確執を持っています。

撃たれたり、重いストレスを維持したりしている間、移動したり、全体的な能力のレベルを維持したりすることは決して簡単ではありません。彼らはやった。フィールド外では彼らを尊重しなければならない。

あなたはそこであなたの古い仲間と直接接触していますか？

私は毎日彼らの多くと話します。

フロストビクは私の映像のほとんどを彼自身のものとして持っていました。デビッド・ルスランも。あの男はクソ野獣だ。彼が足を失ったとき、私は彼と一緒にいました。攻撃は別のアゾフメンバーを殺した。

あなたは戦うために戻りますか？

戻るかどうかは完全にはわかりません。私の健康に依存します。私は重金属中毒を患っていましたが、試練全体からキレート療法を通してまだ進行中です。

私はアゾフを最大限にサポートします。しかし、私は NATO、または EU を支持しませんが、最終的には、NATO が関与した場合、ナショナリストが行く限り、戦う価値も残されたままにすることもないような気がします。

地政学的な観点から紛争をどのように見えていますか？

ウクライナへのアメリカの干渉はロシアの侵略を引き起こしました。

ウクライナ戦争は、ナショナリスト戦争とゼレンスキー戦争という 2 つの見込み客によって簡単に配置できます。

ゼレンスキーは権力者であり、ナショナリストは明白です。

次の点に注意する必要があります。

ウクライナ政府は、アゾフと DuK を 3 つの異なる機会にベンチに入れようとしてきました。NATO 政権に対するそれらの有用性がなくなったら。

右セクトールの長は、キエフで暗殺される前に、「マイダンではまだ終わっていない」とさえ言った。

これは明らかに第三次世界大戦です。

私はロシアがただ家に帰るのを見たいです、そしてキエフの政府が脆弱である間、別の(マイダン)革命。

私はロシアをここでの犠牲者とは見ていません。しかし、私はロシアが挑発されていると思います。理性のあらゆる領域を超えて、人々はここですべてが白黒ではないことを理解できなければなりません。

実際、この戦争は、私たちが NATO のために否定されるのを助けたただけでした。誰もロシアとの戦争を望んでいません。

ウクライナが将来ロシアの核能力に問題を抱えているとは思わない。ロシアはウクライナへの損失を処理することができますが、NATO がこれに飛び込んだ場合、ロシアが損失を処理するのは見当たりません。それは理にかなっていますか？

モスクワは 1945 年にはベルリンではありません。

戦争がウクライナにとどまる限り、核戦争はゴールポストにないと思います。

西洋のメディアがそれについてどのように報道するかについてどう思いますか？

ウクライナのファシストに関しては、リベラルな白塗りがたくさんあります。

「ナチスは存在しない」「アゾフ大隊とアゾフ連隊は異なる」「彼らはすべてのナチスをアゾフから連れ出した」。

私たちはこれらすべてが間違っていることを知っています。そしてそこにいてそこにいた男に。亡く

なった多くの人々の遺産を傷つけることは純粋な軽蔑だと思います。

明らかに彼らはそれについてどう思うべきかわからない。私はメディアによるナショナリストの白塗りに反対します。彼らが何年もの間私たちを爆破したという事実にもかかわらず、ウクライナ人でさえある時点でアゾフを完全に根こそぎにしようとしていました。

私はツイッターを使って、ウクライナ軍はナショナリストの理想に満ちていないと彼らが信じているので、主に(西側の)左翼を荒らします。

したがって、実際に何が起こったのかを把握できます。



ウクライナに行くのは間違いだったことを認めますか？

私はウクライナを後悔していません。ウクライナのナショナリストは、基本的にすべて近親交配であるここ米国のナショナリストと同じではないことを十分に明確にすることはできません。

ナショナリストが戦っている戦争は、国家が戦っている戦争とはまったく異なると感じています。ウクライナが NATO のために拒否されたとき、大規模なお祝いがあったことを私は知っています。

多くのアメリカ人は、オセチアのような国が存在することさえ知らないことに気づきます、グルジアのそのような場所への侵略など、第四に。彼らは、ロシアが理由もなく場所から性交を爆撃することを決定したと思っているだけです。

第二次世界大戦と同様に、すべてとすべての動きには理由がありました。残念ながら、ウクライナはその真っ只中に立ち往生しています。

執事のドキュメンタリーは琴線に触れます。

米国は、その存在の 22 年間だけ平和でした。

海軍を維持する権利(海兵隊は大統領によって管理されていますが、海軍省によって所有されています)は私たちを紛争状態に保ち、それは明らかに軍隊を一定の状態に保ちます。オバマ政権は米軍を傷つけた。ひどく。そこに軍隊を駐屯させた場合、私たちが国としてどのような損失を被るかはほとんどわかりません。

ファシストの育成はありましたか？あなたの家族の誰かがあなたの頭をそのイデオロギーで満たしていますか？ただ好奇心が強い。アメリカ/CIA マスコミは、ロシアを憎むようにアメリカ人を洗脳した。それはあなたの場合に起こったことですか？

正直なところ、私は北部で育ちました。私がもともとスキンヘッドだったとき、私は伝統的でした。私は政治に何の発言権もありませんでした。私は 12 歳でした。

父がイギリスに住んでいたため、私は父がどれほど大きな取引をしているのか本当に知りませんでした。

成長して最終的にサードポジションの政治に入ったとしても、私に何かを与える資格があるように見せるという意味で、人々を怒らせるので、それについて話さないように頼まれました。だから私はしませんでした。

私はアメリカ戦線でデビッド・リンチ、マーク・ファエラ、ジェームズ・ポロツォの下で育ちました。

私が知っていた最も賢い人々は、異なる信念を持っており、あなた自身の意見を形成することは彼らにとって大きな問題でした。

ジェームズは何らかの理由で実際には親ロシア人だと思います。デビッドは死んでおり、マークは FBI の逮捕後に引退しました。

## ●プーチン大統領が年末演説で重大発表か？(2022年12月)

プーチン大統領の 2022 年の連邦議会での演説は現在準備中で 12 月末までに発表される予定。専門家はプーチン大統領がこの演説で重大な決定を発表すると予想。

関係者によると大統領府の各機関は、11 月 10 日の時点で演説を準備するようにとの指示を受けたという。



## ●マクロン、APEC 首脳会議の演説(2022年11月21日)

映像の最後で「世界単一の秩序が必要だ」と言っている。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1594601459945209856?t=0Ijy6ZJ9ylA3Z31fZHrpg&s=09>



※安齋注:確かに「右へ倣え！」の一極化ではなく、多極的な多様性のある世界を求めるプーチンとは思想が違う。

## ●サンセバスチャンでのウクライナへの武器供与反対デモ(2022年11月21日)

「ウクライナへの武器供給に反対し、モスクワとの対話を求める最初のデモがサンセバスチャンで行われた。スペイン市民は街頭に出て、ウクライナの軍備に反対し、ヨーロッパの武器がドンバスで民間人を殺害するために使用されていることに反対した」

<https://twitter.com/jieitailove7/status/1594590471401377793?t=9PaHLmaQgsuvK0G-0f-2Rg&s=09>



## ●武器供与に反対するフランス各地のデモ(2022年11月21日)

「西側諸国のウクライナへの武器供与に対する行動は、フランスのパリ、レオーネ、ペルピニャン、ルーアン、カーンで、ハッシュタグ #StopKillingDonbass の下で行われた。

…フランスは、自国の武器が民間人を殺すことに激しく反対している。」

<https://twitter.com/jieitailove7/status/1594590978836672513?t=luYHaORLktuwZAUkP1h46A&s=09>



## メルケル、ひどいじゃないか！

安齋育郎

### ●ウクライナ紛争と「ミンスク合意」

ウクライナ紛争は、2009年のアメリカのオバマ政権以来、ウクライナ政府の親米傀儡化以来10年来の戦略として始まりました。2014年のユーロ・マイダン・クーデターによってウクライナに親米傀儡政権をつくり、極右民族主義者集団(いわゆる、ネオナチ)を国軍に組み込んでウクライナのロシア語話者に民族浄化まがいの攻撃を加え、ウクライナのNATO加盟をちらつかせてロシアを刺激して戦争に駆り立てた結果起こったもので、ロシア側から見れば、国境を接する地域で起こっているロシア語話者に対する反人権的な暴虐から彼らを救い出すための「人道的介入」という性格のものにとらえられています。したがって、ロシアはこれを「ウクライナ戦争」とは呼ばず、ウクライナの非NATO化と非ナチ化を目的とする「特殊軍事作戦」と呼んでいます。

2014年にウクライナ国軍が東部ドンバス地方のロシア語話者の人々に民族浄化まがいの攻撃を開始し、ウクライナ国軍とドンバス地方の分離・独立派(ドネツクとルハンスクに人民共和国の樹立を宣言した人々)の間でいわゆる「ドンバス内戦」が現在まで続いてきました。

2014年9月5日、ドンバス内戦を何とか休戦に持ち込もうとして「ミンスク合意」が結ばれました。ウクライナ、ロシア連邦、ドネツク人民共和国、ルガンスク人民共和国が調印した合意書で、ドンバス戦争の停止について合意したはずの文書で、欧州安全保障協力機構(OSCE)の援助のもと、ベラルーシのミンスクで調印されたので「ミンスク合意」の名があります。しかしドンバスでの戦闘は止みませんでした。

2015年2月11日、欧州安全保障協力機構(OSCE)の監督の下で、今度はフランスとドイツが仲介して、ウクライナとロシアが署名した「ミンスクⅡ」が締結されました。2014年9月5日に調印されたミンスク議定書による停戦を復活させることを目的としたもので、国連でも認知された国際条約と同等の効力を持つはずのものでした。ドネツク人民共和国とルハンスク人民共和国からの非公式代表も加わったグループの会議が4回にわたって開催された上で9月5日に調印された議定書の詳細部分は、ウクライナのポロシェンコ大統領が6月20日に提案した「15か条の講和案」に似たものでした。

しかし、それにもかかわらず、ウクライナ側は、ドネツクとルハンスクの東部2地域に幅広い自治権を保証する「特別な地位」を与えるとの内容に国内に大きな不満があり、結局、2019年に大統領になったウオロディミル・ゼレンスキーもこれを実行せず、反故にしました。「ミンスク合意Ⅱ」も守られなかったのです。

### ●メルケルもだまし屋だったのか！

ロシアのプーチン大統領は2022年12月9日、2014年に始まったウクライナ東部の紛争解決に向けロシアとウクライナ、ドイツとフランスで結んだ「ミンスク合意」について、「われわれは裏切られている」と述べました。その意味は、ドイツとフランスはミンスク合意でドンバス内戦を終わらせるように見せかけながら、その実、ウクライナに武器を供給し続けているという批判です。

しかも、ミンスク合意をつくる上で「誠実に」調停作業に取り組んだと思っていたドイツのメルケル前首相が、12月7日付のドイツのジャーナル『ツァイト』に掲載されたインタビューの中で、「ミンスク合意はウクライナが防衛力を強化するための時間を確保するものだった」と発言したと伝えられたので、プーチン大統領は12月9日、訪問先のキルギスで行なった記者会見で、「ドイツ政府は誠実に行動しているとずっと思っていたが、メルケル氏の発言に失望した」と語った上で、「誰もミンスク合意を履行するつもりがないことが分かった。要はウクライナに兵器を供給し、敵対行為に備えるだけだったのだ」と言いました。プーチン大統領は、さらに、「このような発言の後では、どうすれば合意できるのか、合意する相手はいるのか、保証はあるのかという疑問が湧いてくる」とも述べました。

国際社会はある種のだまし合いの社会だと言われるので、いまさらメルケルの発言に驚いたり、落胆したりする方がナイーブなのだとわれればそれまででしょうが、東ドイツ出身のメルケルおぼさんの悠揚迫らざる調停ぶりに期待する向きも少なくなっただけに、プーチン大統領ならずとも、国際政治の冷酷さを改めて感じ取ったところでしょうか。